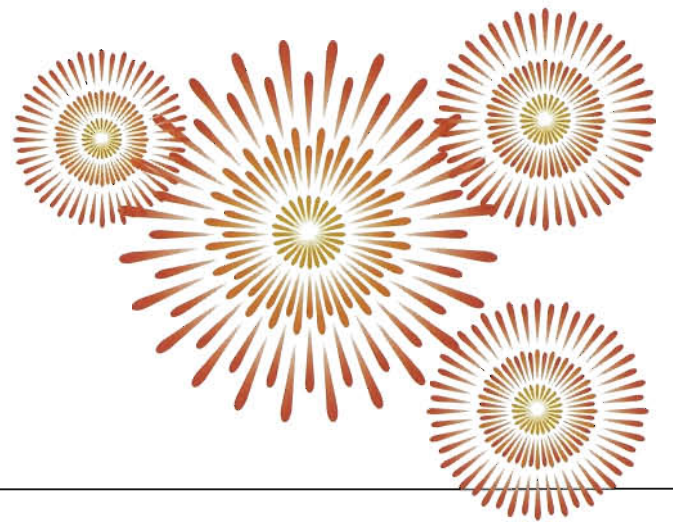


嫁ヶ島通信

2
2009.7

発行：水の都プロジェクト協議会
事務局／松江市米子町8番地29
電話0852-24-6521 FAX0852-26-3724
Email:mSPACE@lime.ocn.ne.jp
http://www.mizu-miyako.com



真夏の嫁ヶ島



七月二五日・二六日／八月一日・二日
竹生島神社の御神体を移して盛大に夏祭り

嫁ヶ島に鎮座する竹生島(ちくぶじま)神社は、現在浜乃木の野代神社が管理し御神体も野代神社に安座しています。このたび、島の保全と観光客の安全祈願をこめて嫁ヶ島まつりを開催することになりましたが、期間中は御神体も島にお帰りになるはこびとなりました。
八月二五日、午前九時四十分から行われる安全祈願セレモニーを皮切りに、四日間の渡航イベントを開催します。

お祭りに華を添える主役は島根県太鼓連盟の中から参加する七つの団体。地元はもとより石見方面からもはるばる駆けつけていただくことになりました。
太鼓競演の合間には、アマチュア数団体の踊りやパフォーマンスが披露されます。
なお、炎天下になりますが、島には日陰がありませんので各自で日よけのご準備をお願いします。

“歩いて渡る嫁ヶ島”は八月一日です。
テレビで全国に放映され話題になったイベントに予約殺到。今年も松江水郷祭の初日の午前中に行います。詳しくは、協議会事務局にお問い合わせください。

昨年の湖上太鼓の様子(三刀屋太鼓)



【スケジュール】

7月25日(土)

- オープニングセレモニー(安全祈願)
9:30～ 嫁ヶ島竹生島神社・ステージ
- 湖上太鼓
10:30～ 宍道太鼓
13:00～ 斐伊川さくら太鼓振興会
14:00～ 石見あらがね太鼓
15:00～ 飯梨郷ふれあい太鼓保存会
- 湖上ステージ
10:00～ 剣舞・詩吟・尺八
11:30～ 銭太鼓・どじょうすくい
13:30～ フラダンス
15:30～ ストリートダンス

7月26日(日)

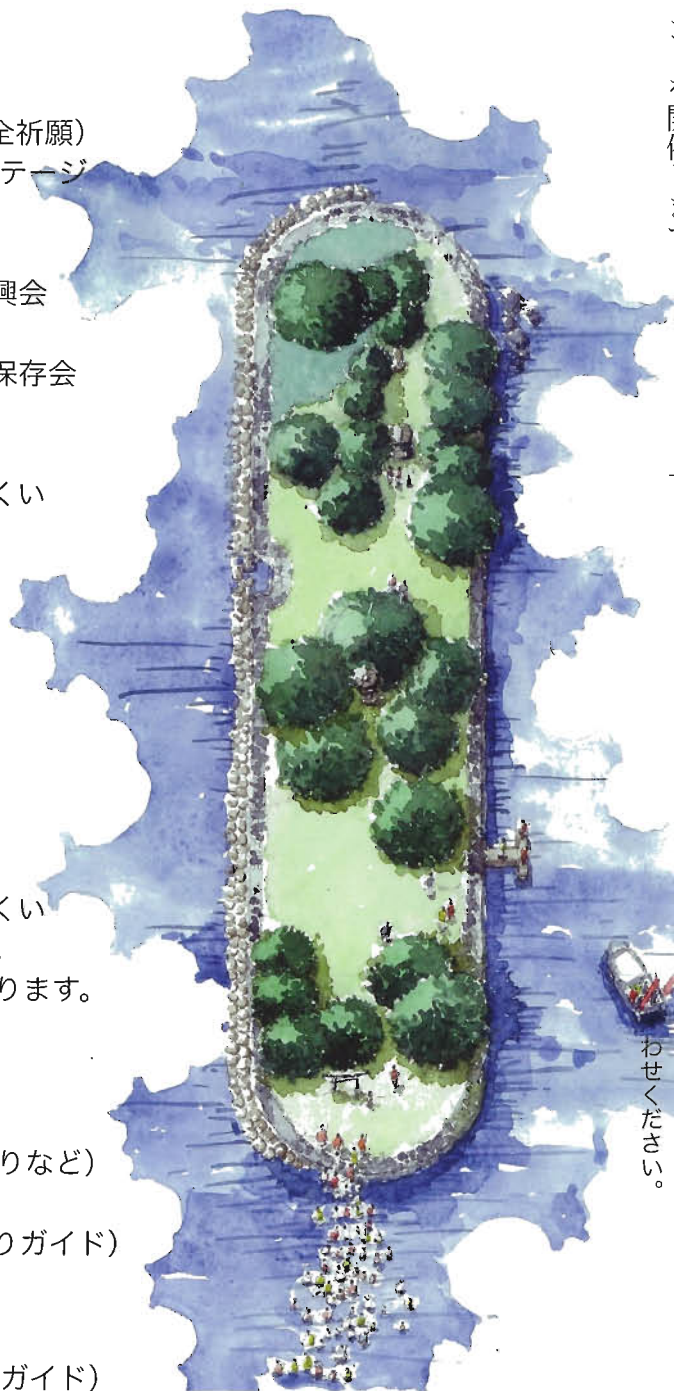
- 湖上太鼓
11:00～ 三刀屋太鼓
13:00～ 神戸川太鼓
15:30～ 掛合太鼓保存会
- 湖上ステージ
11:30～ ヒップホップダンス
14:30～ 銭太鼓・どじょうすくい
*湖上太鼓の合間に上演します。
*その他、演歌のステージもあります。

8月1日(土)

- 歩いて渡る嫁ヶ島
8:30 受付開始
9:30～13:00 渡り(しじみ採りなど)
- 嫁ヶ島渡航
12:30～ 船渡し(嫁ヶ島物語りガイド)

8月2日(日)

- 嫁ヶ島渡航
9:30～ 船渡し(嫁ヶ島物語りガイド)



◎嫁ヶ島保全活動◎

本格的に始まる 松の保全

島に植えられている松がかなり痛んでいます。原因は様々ですが、松江市と嫁ヶ島社中でこの秋から本格的に調査し手入れを始めることになりました。幹の周りにはロープが張られています。松の保全のために立ち入らないようかご理解ご協力をお願いします。



松枯れも目立つ島の自然



草刈り応援隊員募集!
協議会では四月から年四回の嫁ヶ島草刈りを行っています。残り二回の参加者を募集しています。
参加費六〇〇円(弁当代・保険料など) 〓会員は無料 〓
◎七月一八日(土)
◎九月二六日(土)
お申し込みは協議会事務局まで

春の嫁ヶ島参加者は一千人
十二年ぶりのホーランエンヤ開催を記念して、五月連休から延べ六日間の春の嫁ヶ島渡航を開催しました。このイベントは実証実験のねらいもあってあまり広報ができなかったにもかかわらず期間中およそ一〇〇〇人のファンが訪れ、しばしの湖上の別世界を楽しんでいました。
今回から、岡崎雄二郎さんと吉田薫さんによる島の歴史や景観のガイドが始まりましたが、これが大評判。遠来のお客さんも新鮮な感動に感謝していました。
夏のイベントでもガイドによる紹介を予定しています。



連休とあって多かつた家族連れ



屋形船から歓声をあげるこどもたち

嫁ヶ島物語 1

嫁ヶ島ガイド／岡崎雄二郎

ふだん湖岸から眺めるだけの島だった嫁ヶ島をイベントに併せてガイドすることになりました。
 たまたま、伊勢宮の古本屋で『華表美談 穴道湖嫁島』という本（最終原稿）を購入し、調べていたところ松本さんや影山さんから入会の話があったからです。
 調べてみるといろいろと興味深いことがわかってきました。

マグマが噴出して誕生

まず、地質学的にいうと、今から二〇〇万年前というはるか太古の昔に、地底のマグマが火山として噴出して出来上がったそうです。その証拠に島の西北の礫に黒い玄武岩という火山岩の塊が見られます。たまたま水面より高いところで固まったのが島になり、水中参道と言っているところはやや低いところで冷え固まったのではないのでしょうか。

変化した嶋の名前

この島が書物に初めて登場するのは、奈良時代の地理誌である『出雲国風土記』です。「蚊嶋」と名前が記されています。古代人は広大な穴道湖（当時は「野代の海」とか「入海」と言った）の中にあつて唯一蚊のよう小さな島というイメージだったのでしよう。

江戸時代になると、悲しい嫁島伝説が誕生し、それにならつてか島の名も「よめ嶋」「嫁嶋」「婿嶋」と変化しました。誰か知恵者がいて、「蚊嶋」では印象がよくない。好い字に変えようということで変えたのかも知れないが、今のところ真相は不明です。

石垣の石材を採掘した？

松江城や城下町の造成工事は、慶長十二（一六〇七）年から慶長十六（一六一一）年と伝えられています。『松江亀田山千鳥城取立古説』によれば、「石垣に用いる石は、矢田山、嫁島、荒和井山その他方々から運ばれ、中には舟で運ぶものもございました。……とあり、嫁が島からも採掘したと思われまふ。今後は、嫁が島の黒い石と松江城の石垣に使われた黒い石を科学的に分析して検討する必要があります。」



島は全て神域

この島は、もともと国有地でしたが、昭和二〇年に野代神社に譲渡されました。古くは堀尾忠晴が竹生島神社を創立して以来、市杵島姫命（別名弁才天）が祀られています。

航海、水運の神としてはもちろん最近では弁才さんが琵琶を奏でていることから音楽・芸能の神様としても信仰されているようです。

穴道湖の夕照

明治三年、松江に来たラフカディオ・ハーンは、圓成寺山の南端にあつた栗原屋で出雲蕎麦を食べながら穴道湖の夕照を眺めて絶賛しました。

もちろんだ嫁が島がその景色の大切な要素になっています。
 著書、「神国の首都松江」に時々刻々と変化する水面の微妙な色調を名文で綴っています。

京都の工学博士と鳥居

島の東端にある鳥居は、明治三十九年、松江にやってきた京都帝大の工学博士で琵琶湖疎水を設計して有名な田邊朔郎博士が朽ち果てようとしていた木の鳥居を、御影石に替えて献納したものでまさに美談として伝えられています。

鳥居は明治四〇年三月に完成しましたが、直後の五月には東宮殿下（後の大正天皇）が行啓になり、二五日に島に上陸、風景写真を撮影されたといわれています。

東京から来た収税長と大燈籠

島の中央に大燈籠があります。来待石製で、意匠（デザイン）は初代荒川亀齋、石工は寺町の名工為七と刻んであります。これを献納したのは、武蔵国住人金子直という人です。この人は明治の中頃、松江に収税長（後の税務署長）としてやってきますが、数年で千葉へ転任しました。しかし、松江が好きになり忘れられず、もう一度松江を訪れたい思いをずっと抱き続けました。

名古屋の漢詩人と歌碑

竹生島神社の石祠の後ろに歌碑があります。これは、有名な名古屋出身の漢詩人永坂石隸（ながさかせき）が大正元年、島へ渡り詠んだ「碧雲湖棹歌（へきうんこうか）」です。

「美人は現れず 碧雲飛ぶ 惆悵（ちゆうちゆう）す 湖山に夕暉（ゆうき）入るを 一幅の淞波（しょうは）（せしや 誰か剪取（せんしゆ）の痕（あと） 春潮（しゅんちゆう）の浪（なみ）（あ）は 嫁時（かじ）の衣（きぬ）に 似たり」

美人とは、あの伝説の主人公。島へ渡る前に伝説を聞いたのだが、若くて美しいお嫁さんはどこにも見当たらずに大変残念だ。一幅の湖面の絵を誰かが切り取ることができようか。おだやかな潮の流れはあのお嫁さんが着た結婚衣装のひだの流れに似ているという感想を漢詩にしたためています。

嫁ヶ島の魅力

このように小さな島のあちこちに松江はもとより全国各地の人たちとの関わりのある文化遺産があります。そこには嫁が島や穴道湖、そして松江への深い思いが詰まっています。それが嫁が島の魅力なのではないでしょうか。

2009 出雲国神仏霊場めぐり
 清水寺・精進料理と
 写経の旅

九月二十日（日）開催
 参加者募集中
 大神山神社本社・奥宮―大山寺―清水寺（精進料理・ご祈祷）
 ・写経・法話―雲樹寺―竹内神社
 参加料七五〇円（お一人様）
 お申込みは名前、住所、年齢、電話番号を電話もしくはファックスで。
 お問い合わせ先／奉賛会 神庭嘉孝
 電話／〇八五二・二四・六五二四
 ファックス／〇八五二・二二・二二七六



清水寺

心清々しく生きたい
 女性へ

一畑薬師管長 飯塚大幸様
 をお招きして、
 神仏への「心の旅」をお聴きします。

九月五日（土）
 会場／やくにびき二階
 会費／五〇〇円（茶菓代）
 お問い合わせ先／奉賛会 神庭嘉孝電話／
 〇八五二・二四・六五二四
 ファックス／〇八五二・二二・二二七六

【会員募集中】

水の都プロジェクト協議会会員
 法人会員／200000円
 個人会員／30000円
 いずれも年会費
 ◎特典
 ・会報「嫁ヶ島通信」送付
 ・渡航券無料 その他

有限会社 コスモ警備保障

代表取締役 金本 勉
 松江市上乃木7丁目9-23
 TEL 0852-20-7153



島根ワイナリー 出雲市大社町菱根264-2
 TEL 0853-53-5577

株式会社

あまね建設

代表取締役 朝酌 雄二
 松江市乃白町1012番地
 TEL 0852-24-6204

有限会社

美幸建設

代表取締役 糸川 成秀
 松江市乃白町1012番地
 TEL 0852-27-6866

産業廃棄物収集運搬 建物解体 特別産業廃棄物収集運搬

株式会社 さらつや

代表取締役 今岡 忠導
 松江市八雲町平原348-1



株式会社 原商 松江支店
 松江市平成町182-12
 TEL 0852-25-7700